

式辞抜粋

いよいよ今日から、新しい学校、新しい学年・学級での生活が始まります。これから皆さんは、同じ教室で同じように学習していくわけですが、中学校生活を送る間に、一人一人の成長の度合いに大きな差ができてしまうことがあります。一年ですごく成長する子もいれば、成長が少ない子もいます。

この差は、単に国語、数学、英語といったいわゆる教科の面だけではありません。人間として社会生活をしているうえで大切な心の豊かさ、人をいたわる心、責任を果たす心構え、基本的な生活習慣などの面においても差が出てきてしまいます。

同じスタートラインから出発した人たちの間に、こうした差が生まれてくるのはなぜでしょうか。

私が思うには、何事にも自分の可能性を信じ、前向きにチャレンジしたかどうか、それが大きく関わっていると考えます。

そこで、皆さんに紹介したい、あるスポーツに関わる言葉があります。皆さんは、テレビでゴルフを見たことがあると思います。ゴルフのパットというものを知っていますか。グリーン上でボールをカップに沈める最後の一打のことです。そのパットに関して、こんな言葉があります。「ネバーアップ、ネバーイン」という言葉です。日本語にすると、「ネバーアップ カップに届かないボールはネバーイン 絶対に入らない」という意味です。確かに、カップの手前までしか届かない打球を打っている限り、永遠にボールをカップに沈めることはできないですね。

サッカーならば、「シュートを打たなきゃ ゴールは生まれません」。野球ならば、「バットを振らなきゃ、ヒットは生まれません」といったところでしょうか。

これは、スポーツに関わる言葉ですが、私は、人生においても同じことが言えると思っています。「ネバーアップ ネバーイン」すなわち、「失敗を恐れて、やらずに悔いを残すよりも、自分の可能性を信じて、思い切ってチャレンジせよ」ということです。

学校生活の中では、チャレンジする場面がたくさんあります。たとえば、新しいクラスメイトに自分から話しかけること、授業で思い切って挙手をして発言すること、クラスの級長や生徒会役員に立候補することなど、実は学校生活にはチャレンジできることがあふれています。チャレンジしようと思えば、どんなことでもできる、そんな環境が中学校なんです。

チャレンジした時に、もしかしたら、失敗してしまうこともあるかもしれませんが。その時は悔しい思いをするかもしれませんが。でも、もし失敗することがあっても、その経験を次に生かしていけばいいのです。

カップに入ることを信じ、カップに届くボールを打たなければ入らないように、思い切ってシュートを打たなければゴールが生まれないように、バットを振らなきゃヒットが打てないように、人生においても、チャレンジしなければ、成功することはないのです。

皆さんは、若き中学生です。失敗を恐れずに、いろいろなことにチャレンジしてみてください。その一つ一つの積み重ねが皆さんを大きく成長させ、豊かな人生へと導いてくれるはずですよ。

高豊中学校には、生徒の皆さんが、目指すべき指針として、くろしお魂があります。「くじけない心 労を惜しまぬ体 信頼する仲間 大きな夢」。素晴らしい目標だと思います。これは、仲間と

もに、失敗してもくじけず、大きな夢に向かって努力を惜しまないこと、まさにチャレンジすることの大切さをあらわしています。

新入生の皆さん、そして、新三年生、二年生の皆さん、私からのメッセージをもう一度繰り返します。「ネバーアップ ネバーイン 失敗を恐れて、やらずに悔いを残すよりも、自分の可能性を信じて、思い切ってチャレンジせよ」

私たち高豊中学校教職員は、「自分の可能性を信じる生徒を育てる」を合言葉に、皆さんの勇気あるチャレンジを全力で支援していくことをここに誓います。

皆さんの中学校生活が、楽しく充実したものとなるよう心から祈念して、お祝いの言葉と致します。

令和四年四月七日
豊橋市立高豊中学校長
小久保 憲司